

# 1-3 認知症かも？と思ったら早めに相談

普段の生活で気になることがある場合や、「認知症の気づきのチェックリスト」で該当するものがある場合は、ためらわずに受診をしたり相談機関にご相談ください。

## 受診

早期に診断し、適切な治療を受けることで、治ったり、進行を遅らせることができる場合があります。

「認知症は治らないから、受診しても仕方がない」と考えず、早めの受診が大切です。

## 相談

初めて相談するときは、誰でも緊張したり、やっぱりやめようかなと引き返したくなったりするものです。しかし、不安や苦しさをひとりで抱え込まず、これからのことを一緒に考えるために、早めに相談してください。

かかりつけ医

(7ページ)



専門医療機関

(精神科医師による診察)  
(7ページ)

必要に応じて  
紹介・連携して  
サポート  
します。

七尾市地域包括支援センター  
七尾市在宅介護支援センター  
能登認知症疾患医療センター  
ななお認知症ほっとけんステーション  
など

(9ページ)

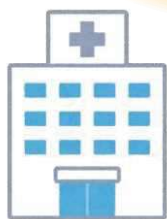


「知らない男の人が家に入ってくる」と言い、怖くてよく眠れなくなった母。転ぶことも増えて心配になり、一緒に精神科を受診しました。レビー小体型認知症と診断され、薬を飲み始めました。幻視が出やすいことやそんなときの言葉がけなど、関わり方を家族が知ることができたこともよかったです。母は不安が軽くなったようで、よく眠れるようになりました。【ご家族】

早めの相談を  
お勧めします!



もの忘れをするようになった…と感じ、ひどくなるのが心配で、地域包括支援センターに相談しました。“人と関わることが予防になるから”と、近所の通いの場を紹介され参加するようになりました。野菜作りの話などみんなでおしゃべりや、体操をすることが楽しみになりました。【ご本人】



人に迷惑をかけたくないと思い、頑張っていた介護でしたが、自分が体調を崩すようになりました。思いきって在宅介護支援センターへ電話したところ、家へ来て介護保険の説明をもらったり、これからの事を一緒に考えてくれて気持ちが楽になりました。自分だけで抱え込む必要はないのですね。【ご家族】

